

**ADVANTEST®**

# 2019年度（2020年3月期） 第2四半期決算説明会

2019年10月30日  
株式会社アドバンテスト

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

# ご注意

---

## 会計基準について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている実績や見通し数値は、国際会計基準（IFRS）に基づいて作成しています。

## 将来の見通しに関する記述について

- 本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれていません。
- これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。

## 本資料の利用について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、各国の著作権法、特許法、商標法、意匠法等の知的財産権法その他の法律及び各種条約で保護されています。事前に当社の文書による承諾を得ない限り、法律によって明示的に認められる範囲を超えて、これらの情報を使用（改変、複製、転用等）することを禁止します。



```
...mirror_mod.mirror_object = ...
operation == "MIRROR_X":
mirror_mod.use_x = True
mirror_mod.use_y = False
mirror_mod.use_z = False
operation == "MIRROR_Y":
mirror_mod.use_x = False
mirror_mod.use_y = True
mirror_mod.use_z = False
operation == "MIRROR_Z":
mirror_mod.use_x = False
mirror_mod.use_y = False
mirror_mod.use_z = True

...selection at the end -add ...
..._ob.select= 1
..._ob.select=1
...context.scene.objects.active
...["Selected" + str(modifier
...mirror_ob.select = 0
..._ob.context.selected_ob
...print("please select...
```

# 2019年度第2四半期決算報告

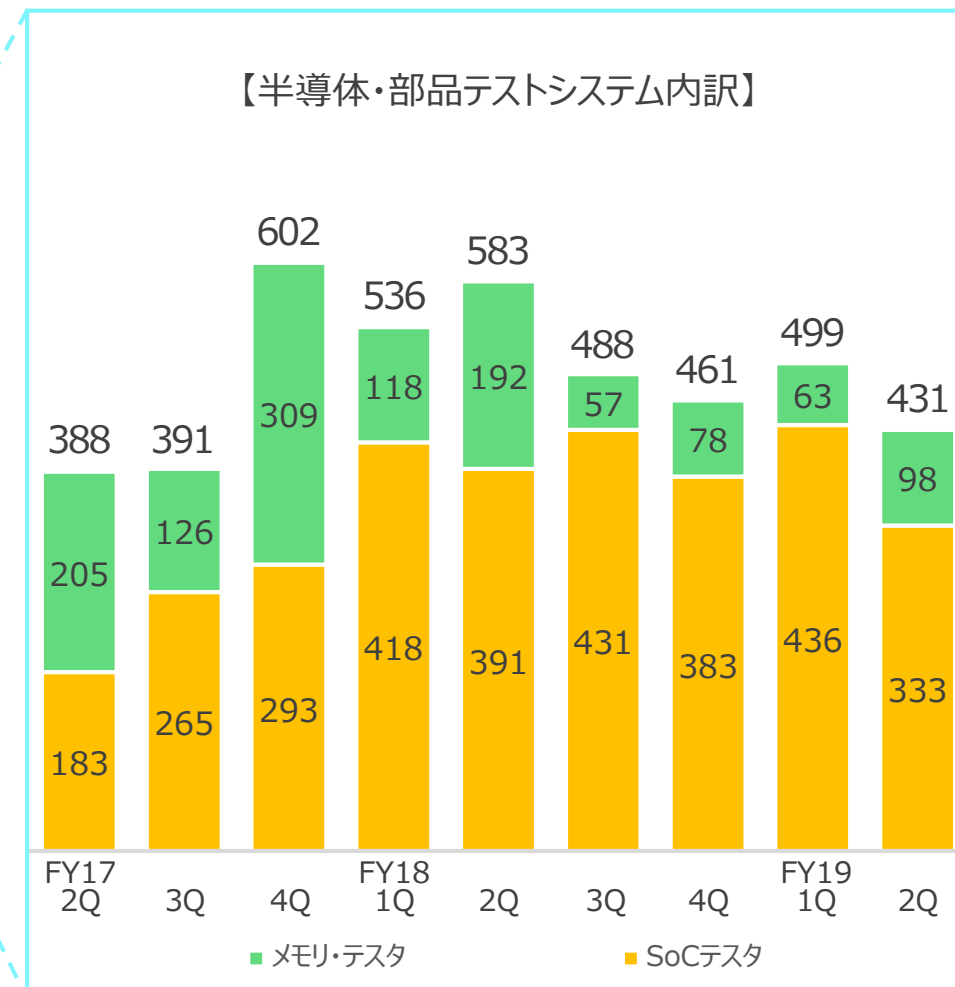
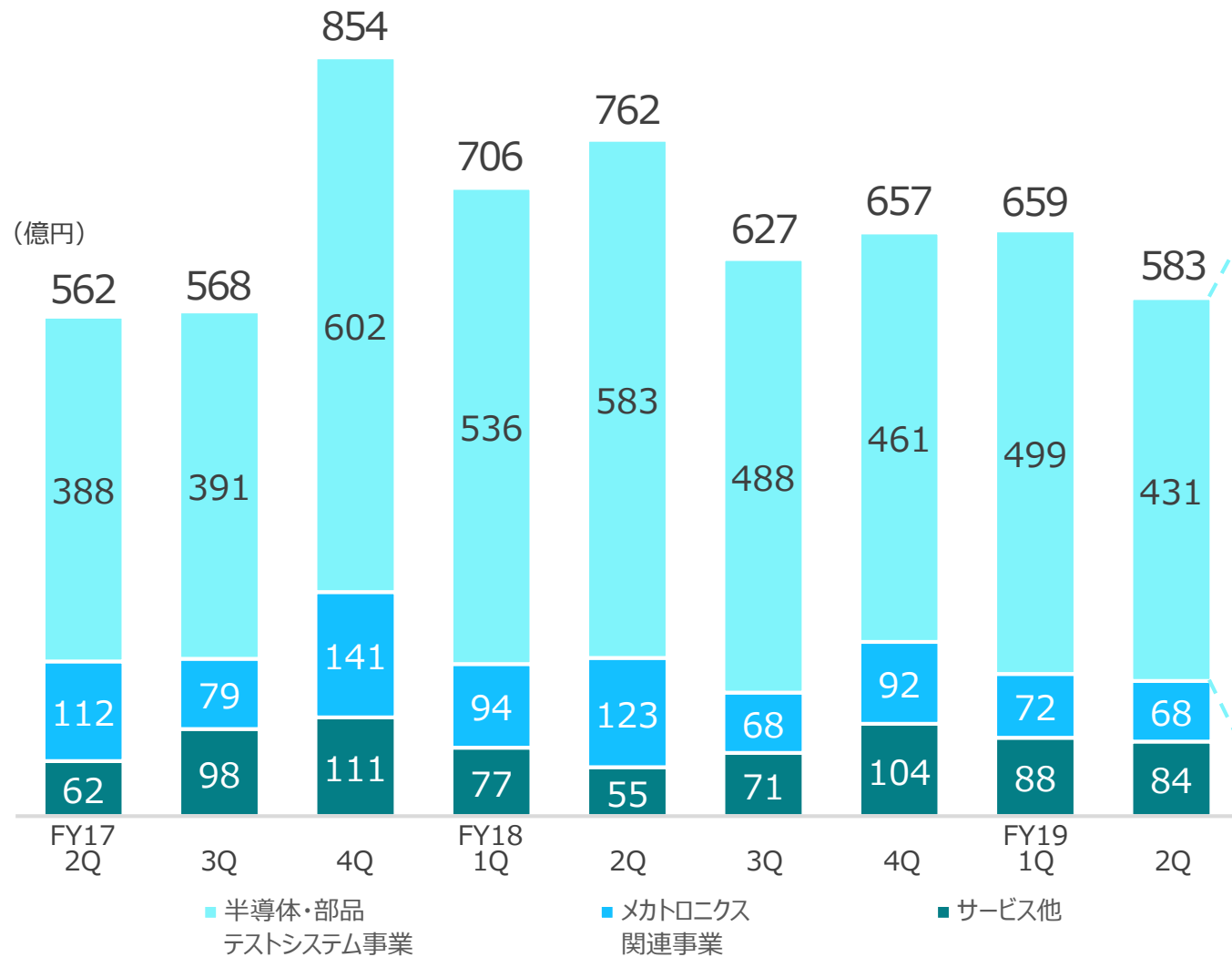
取締役 兼 常務執行役員 藤田 敦司

# 四半期業績推移

(億円)

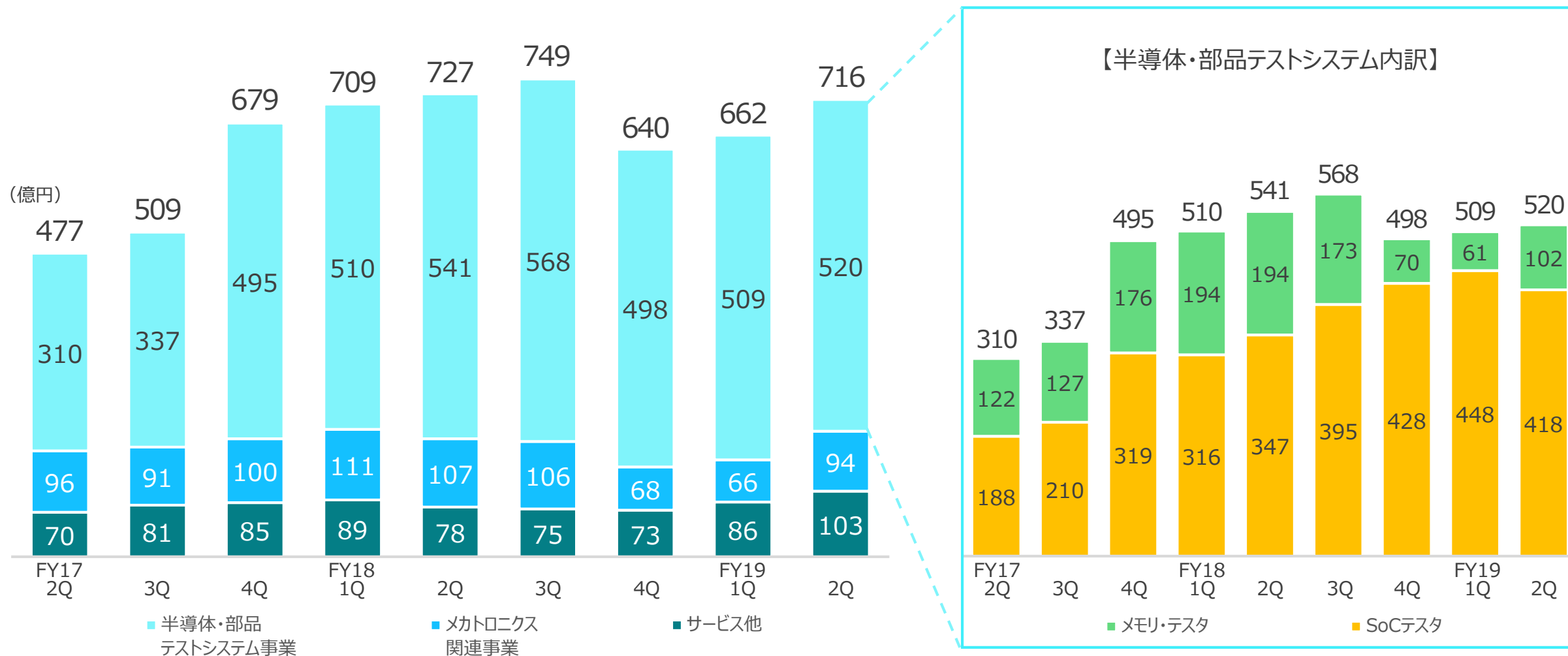
	FY18				FY19		前期比		前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	増減額	増減率	増減額	増減率
	受注高	706	762	627	657	659	583	-76	-11.5%	-179
売上高	709	727	749	640	662	716	+54	+8.2%	-11	-1.5%
売上総利益	382	389	425	344	394	410	+17	+4.2%	+21	+5.4%
売上総利益率	53.9%	53.6%	56.8%	53.8%	59.5%	57.3%	-2.2pts		+3.7pts	
営業利益	158	180	207	102	152	177	+26	+16.9%	-2	-1.3%
営業利益率	22.3%	24.7%	27.6%	15.9%	22.9%	24.8%	+1.9pts		+0.1pts	
税引前四半期利益	165	186	206	105	149	184	+34	+22.6%	-2	-1.2%
四半期利益	139	162	179	90	121	147	+26	+21.5%	-16	-9.7%
四半期利益率	19.6%	22.4%	23.9%	14.0%	18.3%	20.5%	+2.2pts		-1.9pts	
IFRS第15号適用に伴う 期首受注残の調整	-30									
Astronics社SLT事業譲受に伴う 受注残の増加				+24						
受注残	795	830	708	749	746	613	-133	-17.8%	-217	-26.1%
為替レート	1米ドル	108円	111円	113円	111円	108円	3円 円高		3円 円高	
	1ユーロ	131円	129円	130円	126円	121円	4円 円高		8円 円高	

# 四半期受注高 事業セグメント別



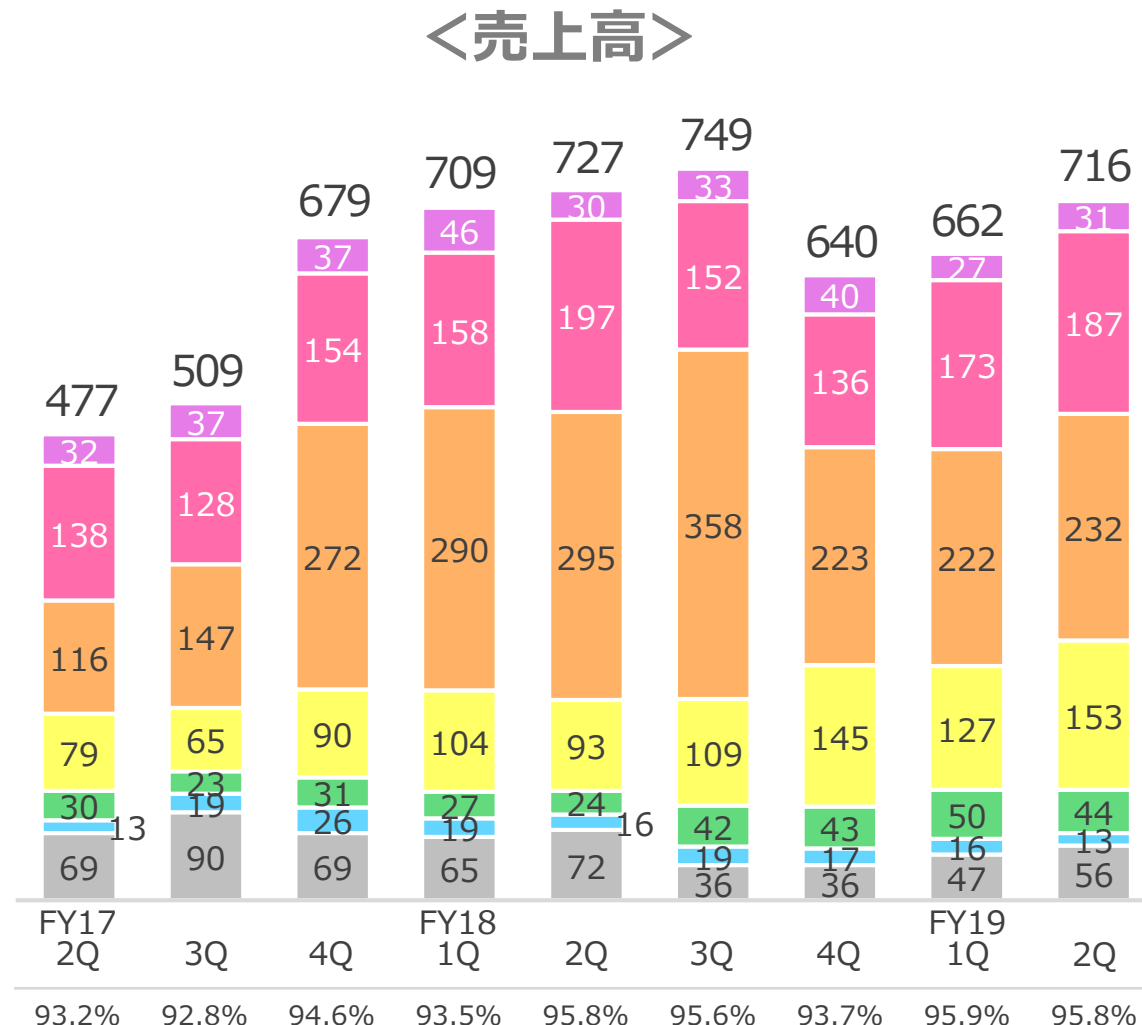
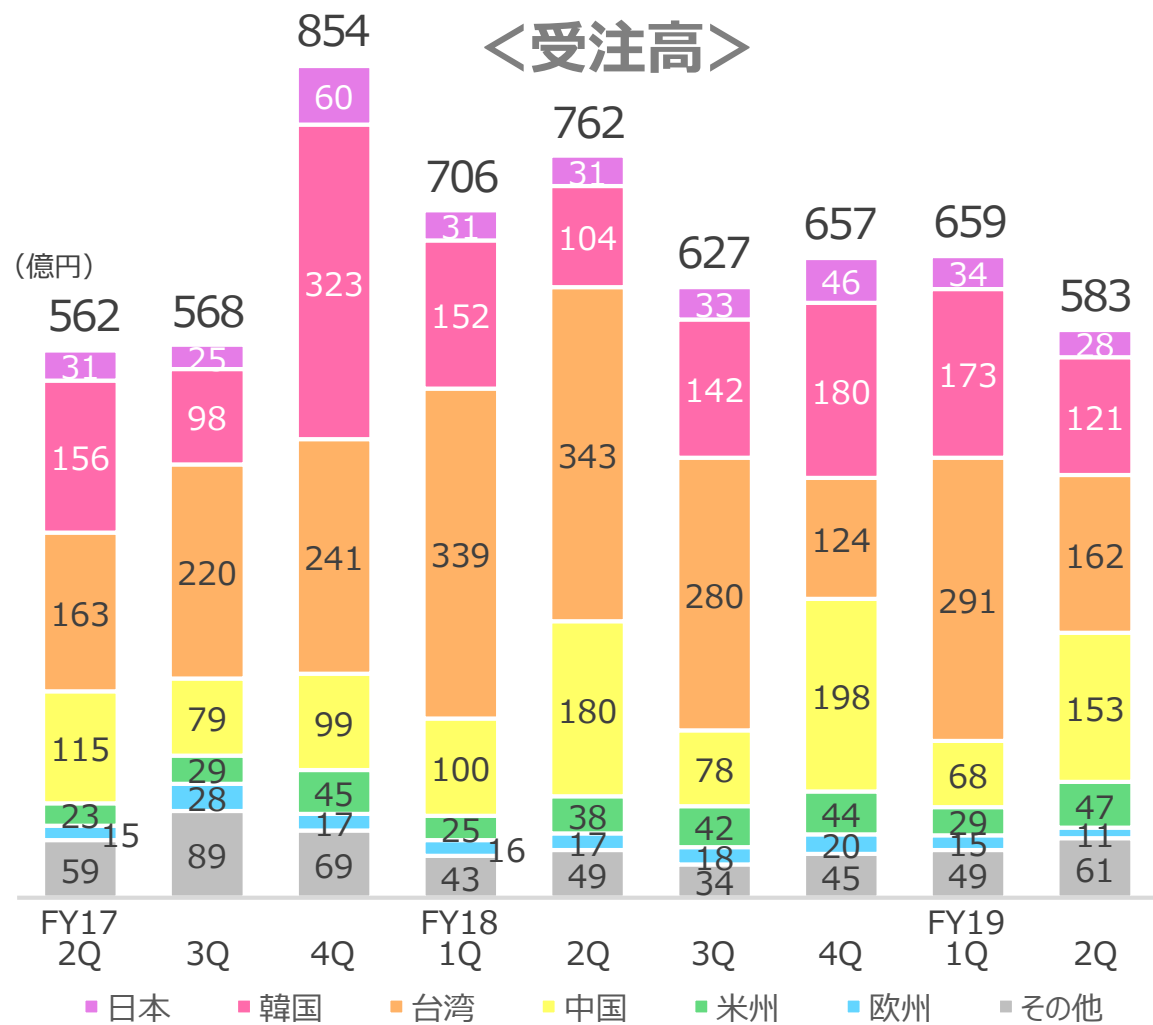
\*合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

# 四半期売上高 事業セグメント別



\*合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

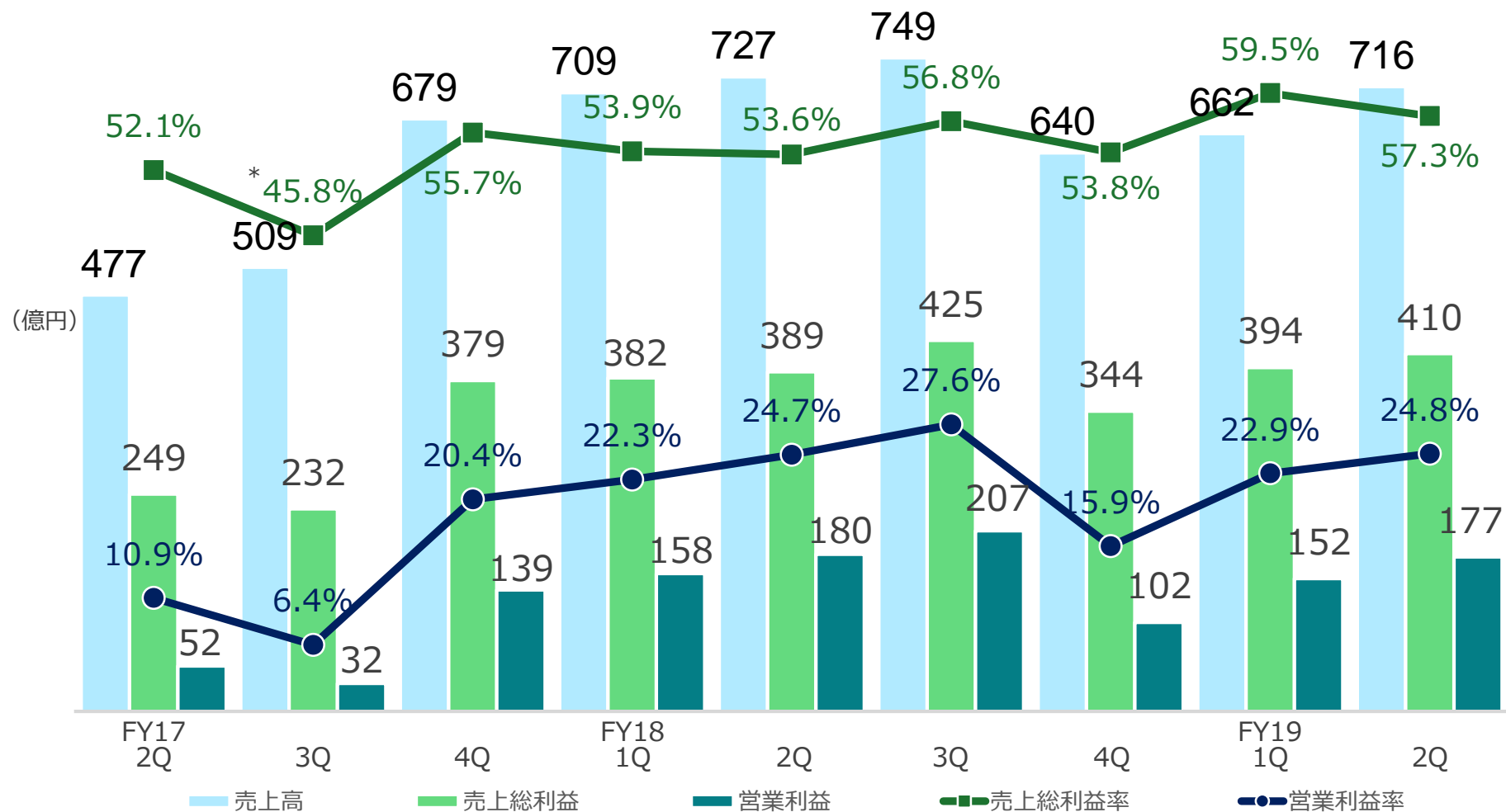
# 四半期受注高/売上高 地域(出荷先)別



93.2% 92.8% 94.6% 93.5% 95.8% 95.6% 93.7% 95.9% 95.8%

海外売上高比率

# 売上高/売上総利益/営業利益



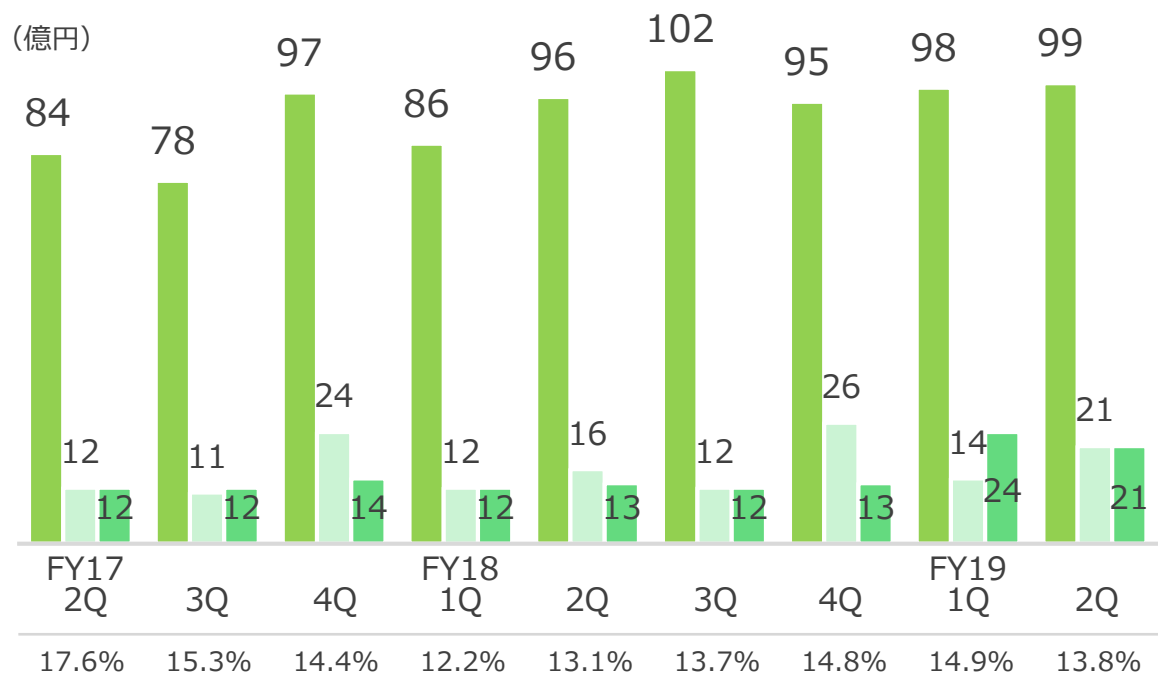
\*FY17 3Qにナノテクノロジー事業の棚卸資産評価損(33億円)を計上しています。  
この評価損影響を除いたFY17 3Qの売上総利益率は、52.3%となります。



# 投資等/キャッシュ・フロー

## <投資等>

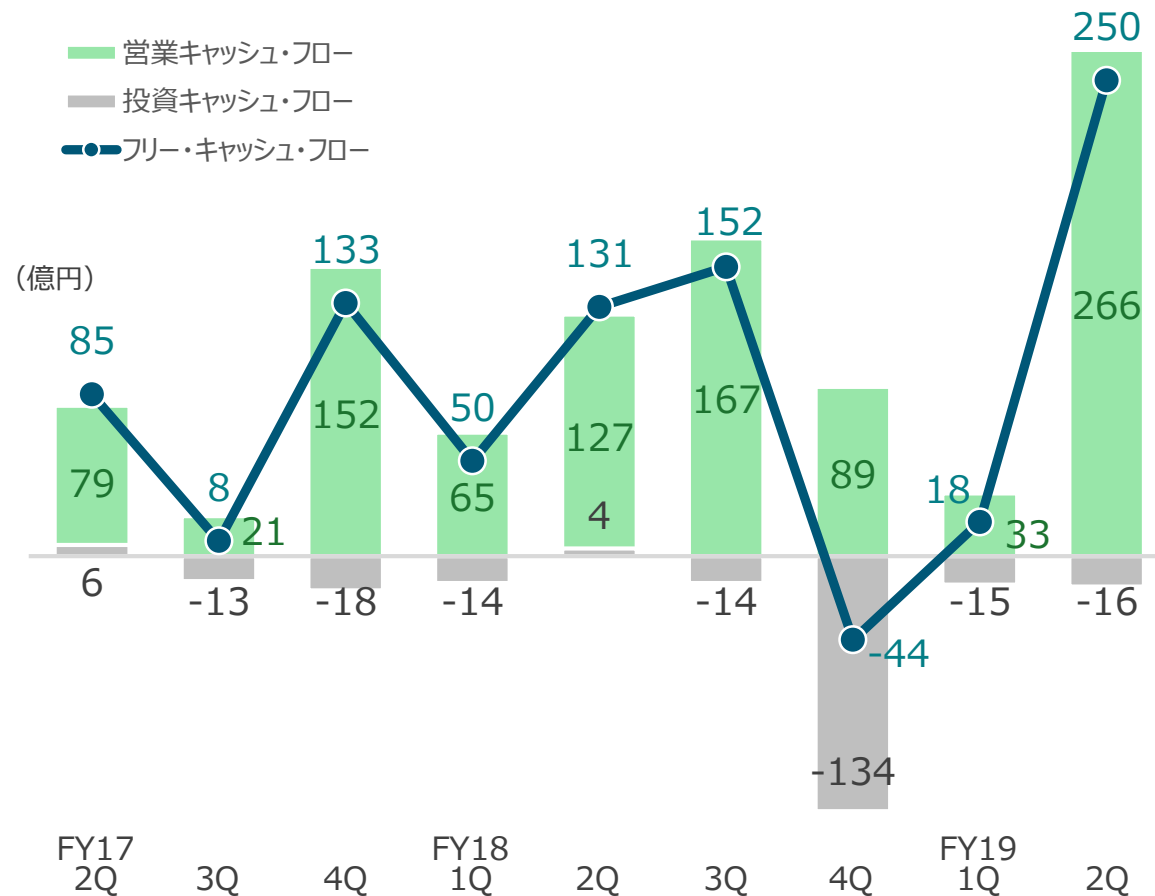
- 研究開発費
- 設備投資
- 減価償却費



研究開発費売上高比率

## <キャッシュ・フロー>

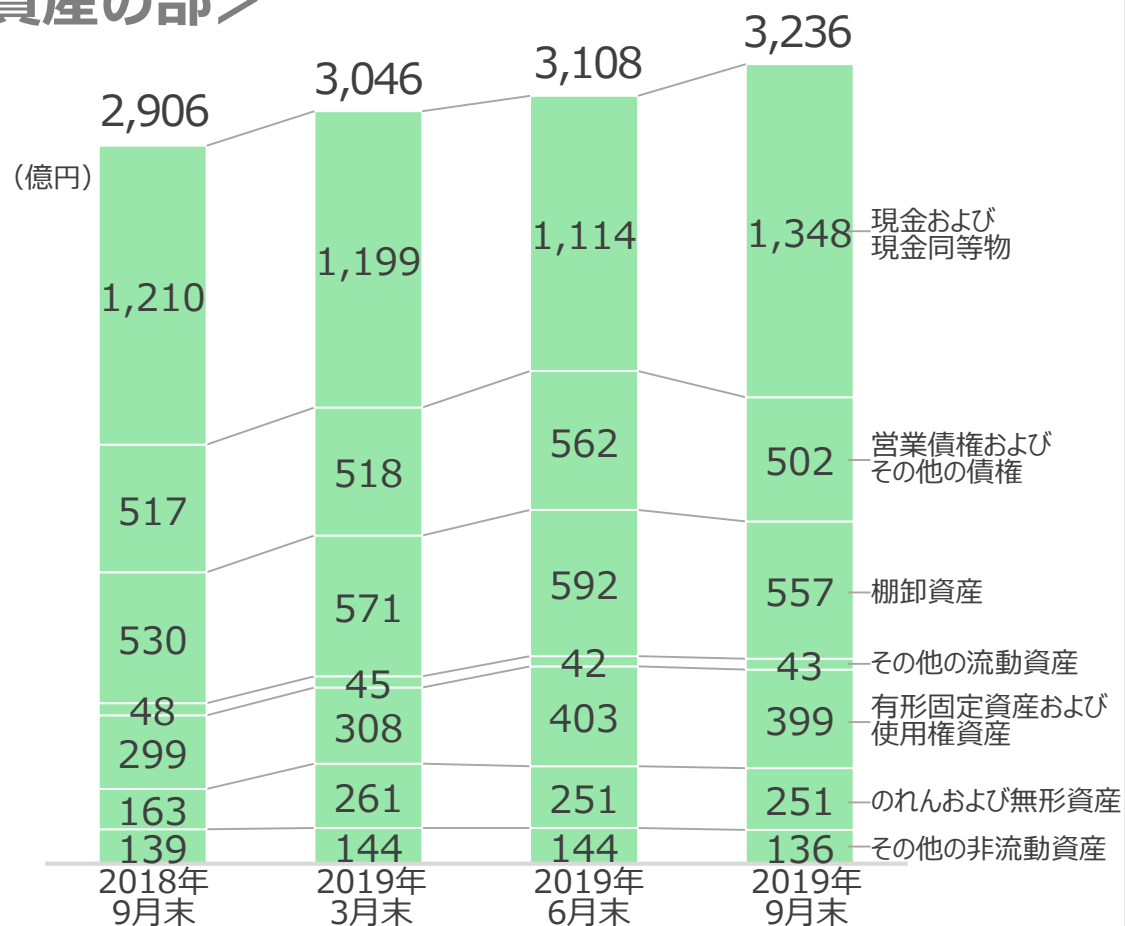
- 営業キャッシュ・フロー
- 投資キャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー



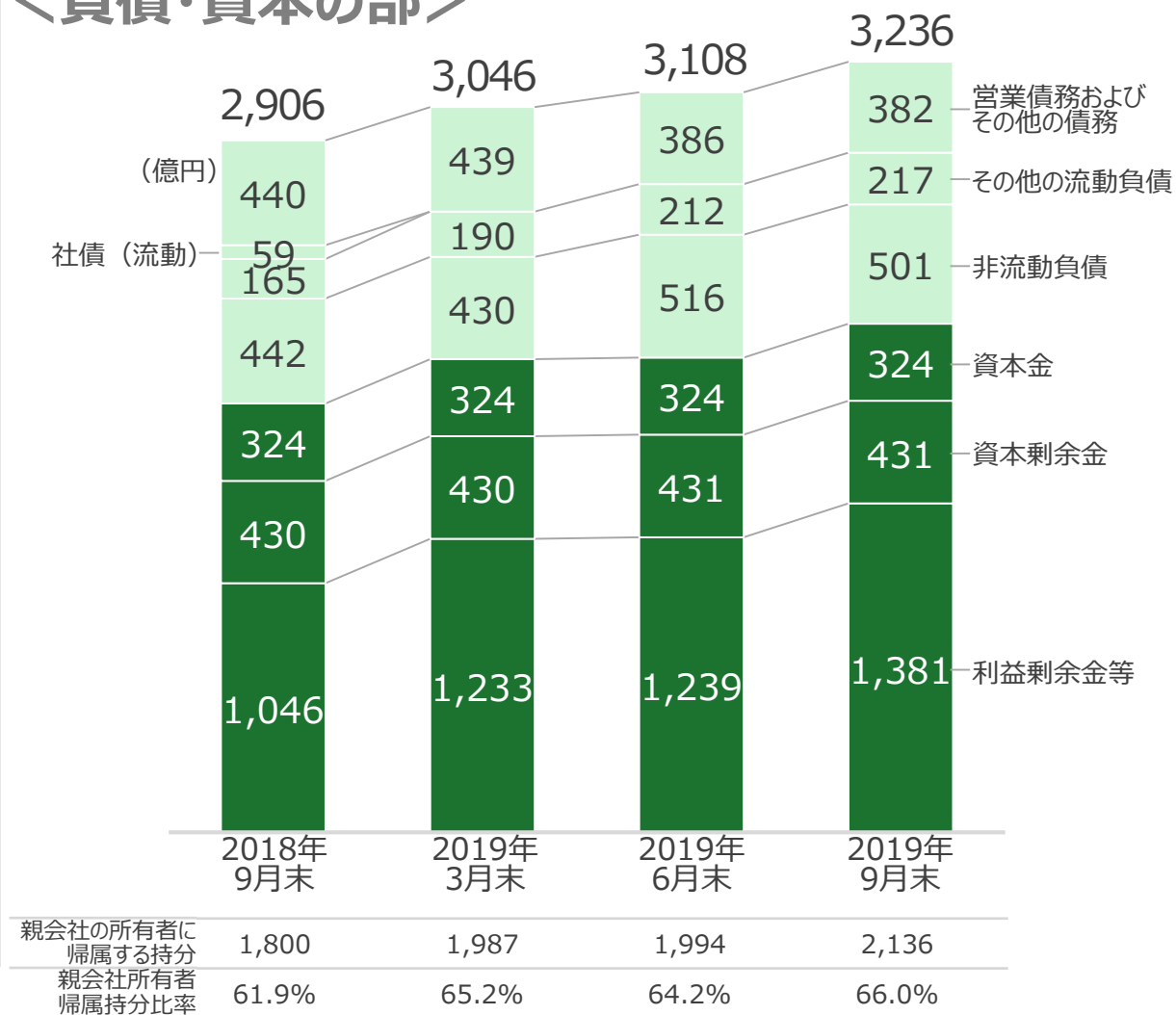
\*フリー・キャッシュ・フロー = 営業キャッシュ・フロー + 投資キャッシュ・フロー

# 連結財政状態

## <資産の部>



## <負債・資本の部>



# 2019年度事業見通し

---

代表取締役 兼 執行役員社長 吉田 芳明

# 半導体テスト市場の動向 <19年10月時点の見方>

## CY18

–半導体の性能・信頼性高度化対応のため、多くの半導体メーカーが活発なテスト投資を通年維持

## CY19予想

–世界経済の不透明感が濃い中、多くの半導体品種でテスト需要も減速

–先端プロセス関連、5G関連のSoC半導体は例外的に力強い動き。SoCテスト市場の見通しを修正

–メモリ・テスト需要も3ヶ月前の想定ほどは悪化せず、持ち直し

–ハイエンド半導体のテスト能力増強投資が市場を牽引する構図は不変。CY20もポジティブなイベントが続く見通し

	CY18実績	CY19推定
SoCテスト市場	約\$2,550M	約\$2,600M (7月時点コメント「\$2,000M以上」)
メモリ・テスト市場	約\$1,150M	約\$550M (7月時点コメント「約\$550Mを割る公算」)

# FY19業績予想

(億円)

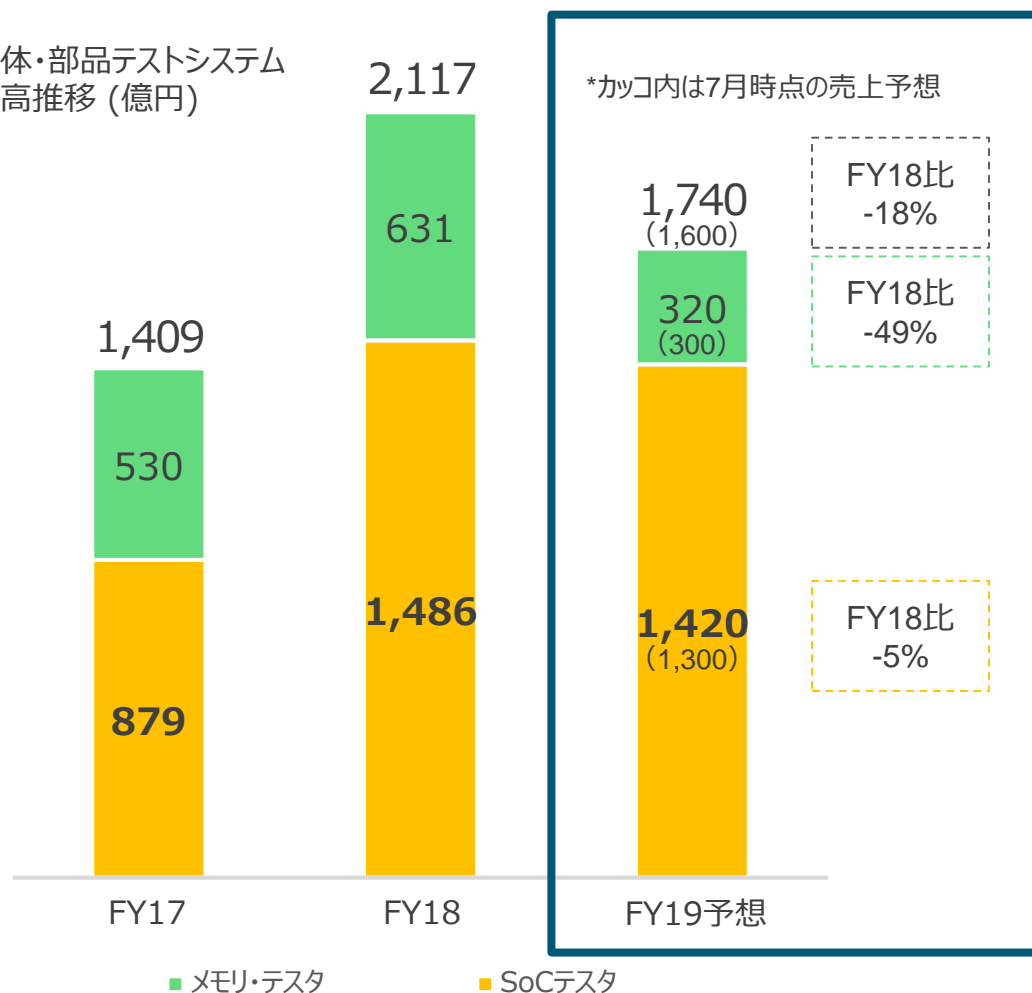
	FY18 実績	FY19					(参考)新旧予想比較	
		上期 実績	下期 予想	通期予想	前年度比		7月時点 FY19予想	修正額
					増減額	増減率		
受注高	2,752	1,242	1,108	2,350	-402	-14.6%	2,300	+50
売上高	2,825	1,378	1,092	2,470	-355	-12.6%	2,300	+170
営業利益	647	329	121	450	-197	-30.4%	300	+150
営業利益率	22.9%	23.9%	11.1%	18.2%	-4.7pts		13.0%	+5.2pts
税引前利益	662	333	125	458	-204	-30.8%	310	+148
当期利益	570	268	97	365	-205	-36.0%	260	+105
当期利益率	20.2%	19.4%	8.9%	14.8%	-5.4pts		11.3%	+3.5pts
受注残	749	613	629	629	-120	-16.0%	749	-120
為替レート*1	1米ドル	110円	109円	105円	107円	3円 円高	110円	3円 円高
	1ユーロ	129円	123円	120円	121円	8円 円高	130円	9円 円高
ROE	35.3%	-	-	17.6%	-17.7pts		12.6%	+5.0pts
1株当たり配当金*2	92円	41円	未定	未定	-		未定	-

\*1: 為替レートの変動がFY19の営業利益に与える影響の最新見通しは、対米ドルが1円高時マイナス5億円です。対ユーロはプラス1億円です。

\*2: FY18の1株当たり配当金は、上期が50円、下期が42円です。

# FY19見通し（事業別）

半導体・部品テストシステム  
売上高推移（億円）



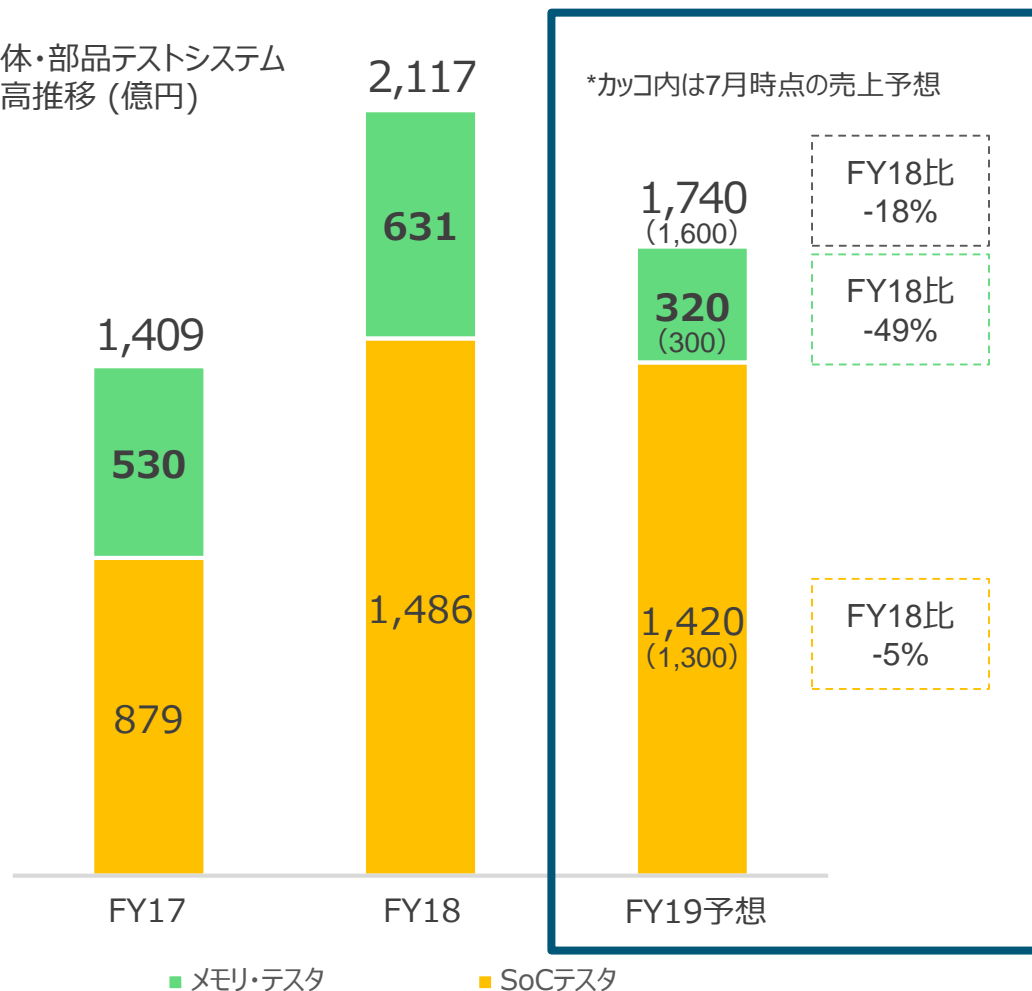
## 半導体・部品テストシステム事業

### <SoCテスト>

- 半導体高性能化の進展が当社のSoCテスト需要水準を下支え。年度売上予想を引き上げ
- 半導体高性能化の代表格は、5G端末に今後使用されるアプリケーション・プロセッサ/ベースバンド・プロセッサ、およびイメージセンサ
- 下期に5G向けは一旦受注減速する可能性があるが、SoC半導体のテスト能力増強トレンドは数年にわたって継続

# FY19見通し（事業別）

半導体・部品テストシステム  
売上高推移（億円）



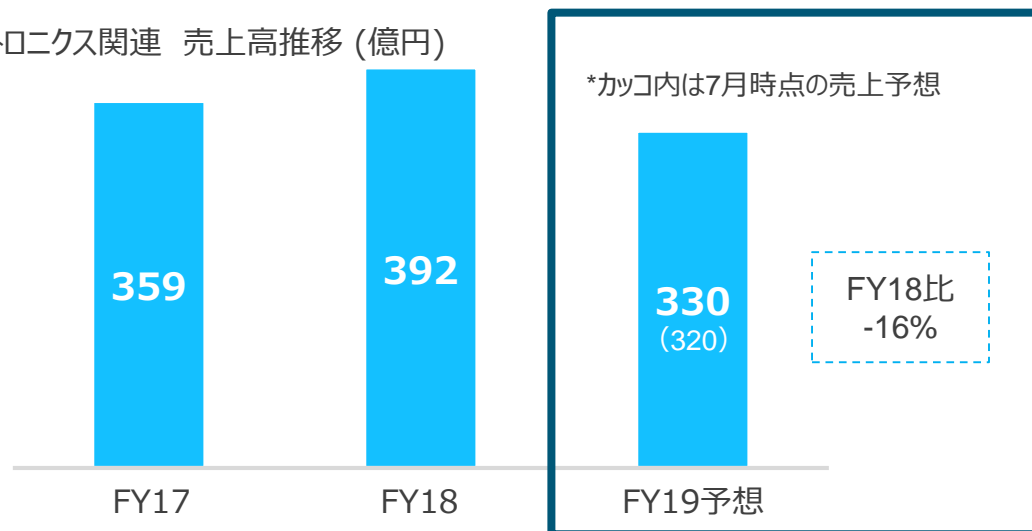
## 半導体・部品テストシステム事業

### <メモリ・テスト>

- 在庫調整が長期化しているが、やや環境に改善感
- DRAMのDDR5シフト、HPC向け高速品など、メモリ市況に左右されにくい領域で需要拡大の兆し
- ビット需要回復につれ、テスト需要の連動回復を期待

# FY19見通し（事業別）

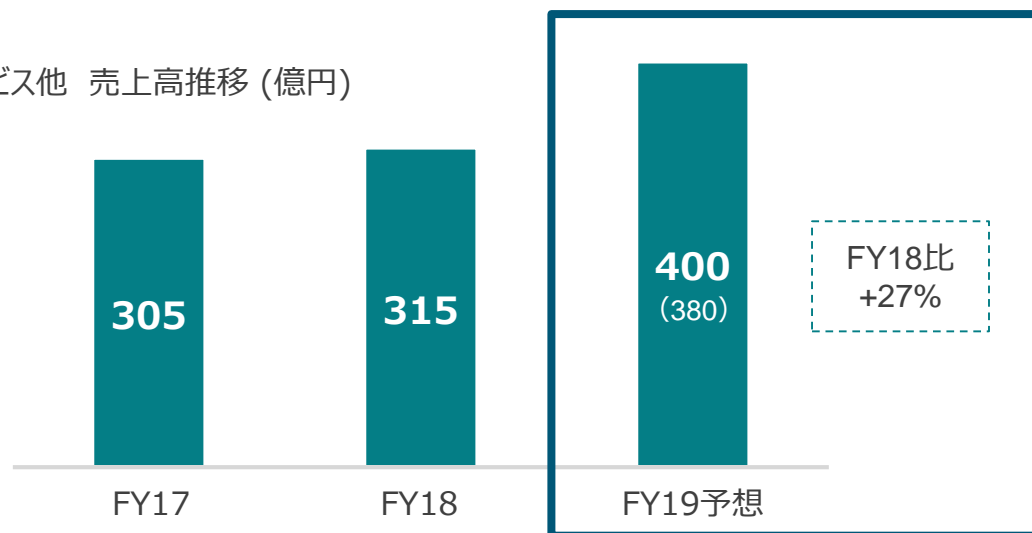
メカトロニクス関連 売上高推移（億円）



## メカトロニクス関連事業

- メモリ顧客のテスト投資減の影響が強いが、メモリ・テストと連動してインタフェース製品も若干の需要増へ
- EUV関連需要の取り込みによりナノテク製品は増収見通し

サービス他 売上高推移（億円）



## サービス他事業

- 顧客内のテスト稼働は一定維持されており、中核事業であるフィールド・サービス売上の底堅い推移を見込む
- SSD、SoCのシステムレベル・テストで売上順調



# 中長期成長に向けた取り組み

## 「グランドデザイン」(長期経営方針・FY18-27)

<ビジョン・ステートメント>

「進化する半導体バリューチェーンで顧客価値を追求」

<経営目標>

「売上高3,000億円～4,000億円の達成」

- 成長分野へのフォーカス、顧客とのパートナーシップ強化でシェアを年1%ペースで改善 (CY17実績:36%→CY27目標:46%)
- 新規事業として、現在のコアビジネスの周辺分野の開拓

## 中期経営計画(FY18-20 平均)

	保守的シナリオ	ベース・シナリオ
半導体試験装置市場 成長率	年0%	年4%
売上高	2,300億円	2,500億円
営業利益率	15%	17%
ROE	15%	18%
1株当たり当期利益(EPS)	135円	170円

## FY19重点施策

- 業界をリードする最重要顧客とのエンゲージメント強化
- 市場シェアの維持・拡大
- 中長期的成長の観点での人員増強、人材開発強化
  - R&D人員、マーケティング/セールス/SE/サービス要員を増強
- オペレーショナル・エクセレンスに向けた業務効率化
- ROICを活用した事業運営の高度化

<開発投資・設備投資の見通し>

	FY18実績	FY19予想
研究開発費	379億円	390億円
設備投資	66億円	100億円
減価償却費	50億円	95億円

# サマリー

---

- SoCテスト投資増にサポートされ、FY19上期は期初予想を超える進捗
- 良好な進捗に照らし、通期業績予想を上方修正
- 下期は一時的な受注減速を見込むが、中長期的なテスト需要拡大基調に変化なし
- 「顧客価値の追求」というビジョンに沿い、さらなる顧客サポート強化に取り組む